



環境と家計に優しい 省エネルギーフォーム

「お家時間」が長くなれば水光熱費も増加します。家計の負担増を実感している御家庭も多いのではないのでしょうか。環境への負荷も気になりますよね。前号で軽く触れましたが、今号は、一步踏み込んで、省エネ効果の高いリフォームについて考えてみましょう。

節水・節電トイレ

まずおトイレです。最近のトイレは節水性能が高くなっていて、昔は洗浄1回に10リットル以上必要でしたが、いまは

半分以下の水量で洗浄できる商品がほとんどです。温水洗浄便座も、使うときだけ温まる便座など、待機電力をあまり使わない様に工夫されています。また、便座や便器には汚れが付きにくい素材が使われており、お手入れも簡単です。掃除の回数が減り、洗剤も節約できます。

さめにくいお風呂

浴室は家庭の水使用量の約40%を占めるといわれ、最も多くの水を使用している場所です。

槽内に段差があつて、溜める水量を減らす浴槽があります。腰かければ半身浴もできるし、浴槽からの出入りも楽になります。最近のシャワーヘッドには、空気を取り込み、水と混合させて、水量を減らしながらも、節水を感じさせないものもあります。

また、いまのリモデルユニットバスには、浴槽を断熱材ですっぽり包み込んで保温性を高めた商品もあり、その効果は4時間後の温度低下が25℃以下という優れたものです。床面には断熱構造をつくり、お風呂全体で保温効果を高めています。お湯が冷めなければ、足し湯をする必要はありません。家族で入浴時間を合わせれば、電気代やガス代を更に節約できますね。

AI搭載エアコンも

エアコンは、冷蔵庫・照明機器・テレビに次いで、4番目に電気消費量が多い

家電製品で、その性能は電気代にも影響します。だからこそ、最新機種には省エネに関連した様々な機能が考えられています。部屋の中の人を感知し、そこを中心に稼働する人感センサー付き機能や、フィルターの目詰まりを防ぐ自動洗浄機能などが付いている機種もあります。最近、人工知能(AI)を搭載し、外気や時間、日射などによる室温の変化を予測、先回りして稼働する機種も登場しています。

また、遮熱カーテンを使用したり、扇風機で空気を循環させたり、一工夫加えれば、さらに省エネ&節約が期待できます。

「省エネ」と聞いて、まず頭に思い浮かぶのは、環境負荷の軽減ですが、地球規模で考える前に、身近なところでメリットを実感したいですね。

「省エネ＝水光熱費の削減」と考える人もいます。省エネリフォームは地球に対してだけでなく、家計にも優しくあつてほしいものです。

いくらエコだからと言っても、住み心地が悪くなつては意味がありません。環境と家計に優しく、快適で暮らしやすい家づくりを目指しましょう。

読売不動産では、読売グループ社員やOBの皆様にご希望と予算に応じたご提案をさせて頂いております。お気軽にご連絡ください。

読売不動産

本社 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル内
大阪支社 大阪府大阪市北区野崎町 5-9 読売大阪ビル内

TEL (03) 3217-8309 FAX (03) 5200-1833
TEL (06) 6363-8055 FAX (06) 6316-1400